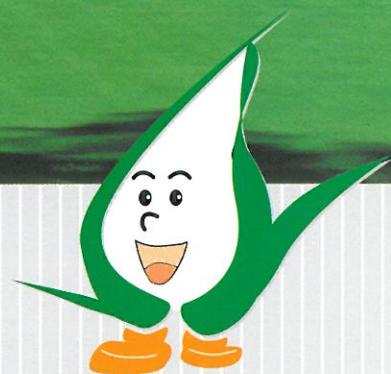


# ダコグリーン

ますます好評！  
芝生用殺菌剤の定番。  
ダコグリーン。



株式会社 エイサー・エス バイオテック

**ゴルフ場の芝生をしっかりと守る**

# ダコグリーン

**ダコグリーンが、ゴルフ場の芝の保護の定番といわれる理由。**

**それは高い安全性。使い勝手の良さ。2種類の薬剤の優れた効果など・・・**

**そして、なによりもグリーンキーパーの方々からの**

**厚いご支持をいただいているから。**

**これからも、定番として、しっかりゴルフ場を守ります。**



保護殺菌剤の種類は？

## ダコグリーンは、 チウラム剤とTPN剤の混合剤です。



主な保護殺菌剤には、銅殺菌剤、無機および有機硫黄殺菌剤、ポリハロアルキルチオ殺菌剤および有機塩素系殺菌剤などがあります。

### 1.銅殺菌剤

植物体に散布された銅化合物が表面に付着し、病原菌の進入を防止します。銅化合物は、徐々に銅イオンとして溶出し、タンパク質のSH基に結合して酵素系を阻害します。無機銅剤、有機銅剤が該当します。

### 2.有機硫黄殺菌剤

殺菌作用は植物体内のSH基と反応してその働きを阻止すると言われています。

ジネブ剤、マンネブ剤、マンゼブ剤、アンバム剤、ポリカーバメイト剤、プロピネブ剤、**チウラム剤**、チアジアジン剤が該当します。

### 3.ポリハロアルキルチオ殺菌剤

殺菌機構は、病原菌体内の酵素タンパク質などのSH基やNH<sub>2</sub>基と反応することによって考えられています。

キャブタン水和剤、キャブタン粉剤、スルフェン酸系剤が該当します。

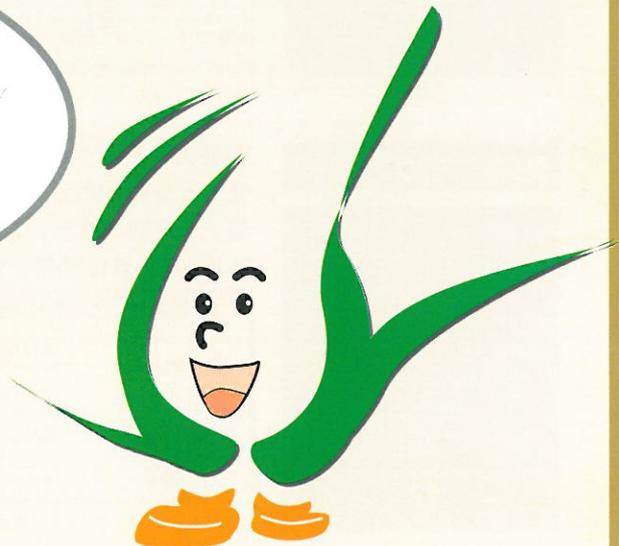
### 4.有機塩素系殺菌剤

多数の塩素が付加したベンゼン環を骨格とする殺菌剤の総称です。

作用機作は、ニトリル基が病原菌の原形質や酵素タンパクのSH基に作用すると考えられています。

**TPN剤**(クロロタロニル剤)が該当します。

つまり、ダコグリーンは、  
2つの作用を兼ね備えた  
保護殺菌剤なのです。



# 安定した効果を発揮するダコグリーン。 芝生を美しく保ちます。

ダコグリーンは、広範囲の病害に強力で安定した効果をもつダコニール (TPN) と従来から芝病害防除に定評のあるチウラム (TMTD) との混合剤です。

## 主な特長

### 芝の重要病害に 的確な効果

優れた2種成分により、芝の重要病害である葉腐病 (ブラウンパッチ)、ヘルミントスポリウム葉枯病に対し的確な効果を示します。

### 高い安全性

各種の芝に葉害の心配がほとんどなく、人畜毒性が低い (普通物) のので、安心して使用できます。

急性経口毒性	ラットLD <sub>50</sub> : ♂ 1,600mg/kg ラットLD <sub>50</sub> : ♀ 1,480mg/kg
急性経皮毒性	ラットLD <sub>50</sub> : ♂ 1,000mg/kg 以上 ラットLD <sub>50</sub> : ♀ 1,000mg/kg 以上



## 適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤のみを使用する場合の使用回数	使用方法	チウラムを含む農薬の総使用量	TPNを含む農薬の総使用量
芝	葉腐病 (ブラウンパッチ) ヘルミントスポリウム葉枯病	500倍	発病初期	8回以内	1m <sup>2</sup> 当り 1~20散布	8回以内	8回以内

有効成分:チウラム (PRTR・1種204) ……30.0% 毒性:普通物 包装:1kg×10袋  
TPN (PRTR・1種199) ……50.0% 魚毒:C類 1kg×20袋



## 適用病害

### ヘルミントスポリウム葉枯病



ヘルミントスポリウム属菌とカーブラリア属菌により発生するとされている。伝播は無性胞子による空気伝染で、ラフの雑草にも伝染源は多量に形成される。窒素過多で刈高を低くすると発生しやすい。雨滴によって拡がるので、降雨前に殺菌剤を散布すると効果が高い。

(昭54)日植防研

供試薬剤	希釈倍数	発病面積率 (%)
ダコグリーン	500倍	1.0
対照薬剤A	1,000倍	2.5
無散布	—	20.0

品種:コウライシバ 区制:1区4m<sup>2</sup> 2反復 散布:6/13, 6/20, 6/27, 7/4, 7/11  
ダコグリーンは10/m<sup>2</sup> 対照薬剤Aは20/m<sup>2</sup> 調査:7/19

### 葉腐病 (ブラウンパッチ)



病原菌は高温性リゾクトニア菌 (*R. solani* AG 2-2 (III B)) で、250余種の植物を侵害する多犯性の土壤棲息菌である。発病は高温期間に限られている。透水性の悪い場所、過剰な散水、刈込み過ぎなどによって激発することがある。殺菌剤は発病前に施用しなければ効果が低い。

(昭55)茨城園試

供試薬剤	希釈倍数	発病面積率 (%)
ダコグリーン	667倍	0.3
	333倍	0.3
対照薬剤B	333倍	7.5
無散布	—	36.7

品種:オールドオーチャード 区制:1区2m<sup>2</sup> 3反復 散布:5/27, 6/4, 6/11, 6/24, 7/1 (10/m<sup>2</sup>) 調査:7/10